

2026 年 9 月 17 日

住友電装株式会社

住友電装と米国 Skild AI、ワイヤーハーネス製造向け フィジカル AI ロボットの共同開発を開始

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、代表取締役社長：漆畑 憲一、以下：住友電装）は、Skild AI, Inc.（本社：米国・カリフォルニア州、以下：Skild AI）と共同でワイヤーハーネス製造向けフィジカル AI ロボットの共同開発を開始いたしました。



■背景と目的

ワイヤーハーネス製造は複雑な工程が多く、従来のロボット技術では代替が困難なため、長らく人手作業に依存してきました。住友電装は、2026 年に策定した住友電装グループ「2030 ビジョン中期経営計画 2028」において、AI の活用により「スマートファクトリー」構想を実現し、あらゆる仕事における判断力とスピードを進化させるとの方針を掲げています。同構想の実現に向け、最新の AI 頭脳を持ち、人と協働して柔軟に作業を行う次世代ロボットである「フィジカル AI ロボット」の開発・現場実証に取り組んでいます。

■SkildAI との取り組み

Skild AI は、特定のハードウェアに依存しない汎用ロボティクス基盤モデル「Skild Brain」を開発・提供する米国カーネギーメロン大学発のスタートアップ企業です。今回、同社との共同開発を通じて、最新の学習手法を採用した同社の最新モデル「S1」を導入します。これにより、ロボットがさまざまな作業を短期間で学習し、複雑なタスクにも柔軟に対応するとともに、自律的に学習できるシステムの構築を進めます。本開発で実現するフィジカル AI ロボットを積極的に活用し、ワイヤーハーネス製造におけるスマートファクトリーの実現を目指してまいります。

以 上

＜参考＞

- ・住友電装グループ 2030 ビジョン中期経営計画 2028 について [プレスリリース](#)
- ・Skild AI 社 公式サイト [The Hidden Pillar of Robotics | Skild AI](#)
- ・マルチ AI エージェント開発について [プレスリリース](#)